

2011～2012年度 IM第2組報告

I.M. 実行委員会

委員長 城谷 星

テーマ：ゼロからのスタート

ホスト：茨木東RC

(会長・東野達雄 実行委員長・城谷 星)

日時：2012年4月14日 14:00～17:00

場所：ホテル阪急エキスポパーク

参加クラブ：茨木RC、茨木西RC、千里RC

千里メイプルRC、摂津RC、吹田RC

吹田江坂RC、吹田西RC、高槻RC

高槻西RC、高槻東RC、茨木東RC

登録者数：448名

出席者数：210名（来賓、RC家族含む）

2011～2012年度国際ロータリー第2660地区第2組のIMが、岡部ガバナー、近藤RI理事・PG、井上PG、大谷PG、高島GEのご臨席のもと、4月14日（土）に行われました。

当日は、ウェルカム演奏と茨木東RCのコーラスチーム「コーロ・フロイデ」の合唱で始まりました。

昨年3月11日、東日本を大震災が襲い、東北地方が未曾有の被害を受けました。私たちのRCは、東日本大震災特別対策委員会を設置し、その対応を整えたのであります。そして姉妹締結を結んでいます米国、韓国からも支援の手が差しおのべられ、現地に直接おもむきました。そこで目にした光景は、終戦後と変わらないような荒涼とした被災地でした。そして支援活動の為に東奔西走しておられるRI第2520地区ガバナー 檜山直樹氏に、支援先の岩手県庁でおめにかかり、その活動に共感し、今回のIMのテーマとなりました。

私たちは、「ゼロからのスタート」をテーマとし、講演とパネル・ディスカッションを企画しました。講演は、現在第2520地区復興支援特別委員会委員長であります檜山直樹直前ガバナーをお招きし「ふるさととは負けない！～新しい日本の創造を目指して～」という演題で行って頂きました。平穏な日常生活が、突如大自然の猛威により破壊されたその時、その現場に遭遇した一人のロータリアンは、何を考えどう行動し続けたのか。ご自身の一つ一つの生々しい過酷な体験を、淡々と冷静に話されるその姿に、講師の人間としての、そしてガバナー・ロータリア

ンとしての使命感と誇りと行動力が、熱く伝わってくる講演でありました。

そして、パネル・ディスカッションでは、檜山直前ガバナーにも参加して頂き、吹田RC会長エレクト・石井博章様、千里RC会長・奥谷英夫様、摂津RC会長・樋上幸夫様、茨木東RC会長・東野達雄様の皆様と共に「東日本へのこれからの支援と取組み」についてディスカッションをして頂きました。活発で有意義な議論の中に、「相手に何がして欲しいのかときくのではなく、自分たちは何をしたらいいのか、支援に向けての提案をして頂けたら有難い」と檜山氏は述べられました。

日本が今、真剣に取り組まなければならない東日本大震災問題。震災より一年が経過し、人々の記憶も少し薄れ、対岸の火事と思われがちとなってきたこの時期に、地区からの取り組みの勧めでもありました東日本大震災のテーマは、東日本の復旧復興だけにとどまらず、今、日本がしなければならないそして考えなければならない課題であり、さらには日本の復興にもつながるものだと考え、取り組んで参りました。

当日は、岡部ガバナーから激励の言葉を頂き、今年度のRIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の精神にも共感した、まさにタイムリーな内容であると講評頂きました。又、このIMの開催にあたりPRに訪問いたしました折、各RCの会員の皆様から励ましの言葉を頂きましたこと、何よりも終始身近でアドバイスを頂いた矢橋ガバナー 補佐に、お礼を申し上げたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。

尚、当日お集まり頂きました皆様に、一本松基金として120,672円のご寄付を頂きました。

